

## 2024 ULTRA PROJECT

# The Projected Image Laboratory | 山城大督

### ■プロジェクト内容（予定）

映像メディアを用い、その場でしか体験できない〈時間〉を作品として展開するアーティスト 山城大督によるプロジェクト。ウルトラファクトリーのスタッフと連携しながら、映像メディアを拡張する作品制作や開発を行い、教育プログラムをはじめとする様々なコンテンツを企画・開発していきます。プロジェクト参加学生は、山城と共に技術習得をしながら、コンテンツの企画、開発、実験から制作と実装までを行います。5期目となる2024年度は、山城が企画する展覧会やアートプロジェクトの制作過程にも関わります。

実施期間 2024年5月末～12月末  
活動場所 ウルトラファクトリーほか  
活動日 2～3週間に一度の定例ミーティングを予定しています。  
(曜日時間については学生と相談)  
案件によっては作業が集中する期間があります。

### ■スケジュール

4月16日（火） **エントリー〆切（13時まで）**  
4月25日（木） 17:30～ 面接（申込者全員）@ウルトラファクトリー  
4月30日（火） 面接選考結果をメールにて連絡  
5月30日（木） 18:00～ キックオフミーティング  
@ウルトラファクトリー

※上記は現時点での予定です。変更の可能性もありますが、各自スケジュールは空けておいてください。

### ■単位認定

あり  
※通年の活動参加で、プロジェクト演習科目単位（2単位）を申請予定

### ■募集人数

5名程度

### ■応募方法

エントリーフォームより必要事項（志望動機/自己PR）を入力し、応募してください。ディレクターとの面接を経て、メンバーを決定します。  
※エントリーフォームへは、特設サイトプロジェクト一覧の末尾にある【ウルトラプロジェクトのエントリーはこちら】から

### ■面接について

面接詳細はエントリー〆切後に、メールにて連絡します。  
面接日時までにこれまでやってきたことがわかるポートフォリオを準備して、当日持参してください。

### ■お問い合わせ

不明な点や質問は、ウルトラファクトリー オフィス（徳山・浦田）まで。  
TEL 075-791-8482 Email [ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp](mailto:ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp)





# テーマ：映像メディアの表現を再考し拡張する

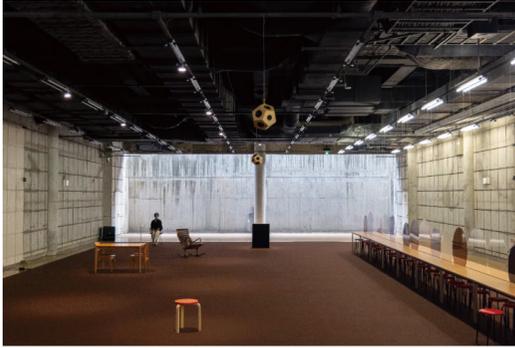
## PROFILE



### 山城大督 | YAMASHIRO DAISUKE

美術家・映像作家。映像の時間概念を空間やプロジェクトへ応用し、その場でしか体験できない《時間》を作品として展開する。主な作品に、広島住宅街を舞台に50人の少年少女が同時刻に自宅のピアノを演奏するコンサート《Time flows to everyone at the same time.》(2010)や、名古屋の港まちで住民や環境と27個の約束をする《Fly Me To The TIME.》(2017)がある。2006年よりアーティスト・コレクティブ「NadegataInstant Party」を美術家中崎透とアートマネージャーの野田智子と結成し、「あいちトリエンナーレ2013」「瀬戸内国際芸術祭2016」など全国各地で作品を発表。主な展覧会に森美術館「六本木クロッシング2016展：僕の身体、あなたの声」。山口情報芸術センター [YCAM] にてエデュケーターとして、オリジナルワークショップの開発・実施や、教育普及プログラムを多数プロデュース。京都芸術大学専任講師。豊中市立文化芸術センター プログラム・ディレクター。アーツプロダクション Twelve Inc. 代表取締役。第23回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。

# WORKS



SPATIAL TONE (2022)



VIDEO LECTURES (2021)



Spectacle of time (2019)



風をたべる、光をのむ (2019)



Synesthesia Garden (2019)



Monitor Ball (2019)



Sensory Media Laboratory (2018)



Fly Me to the TIME. (2017)

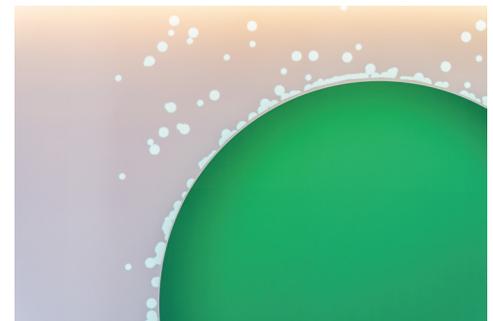
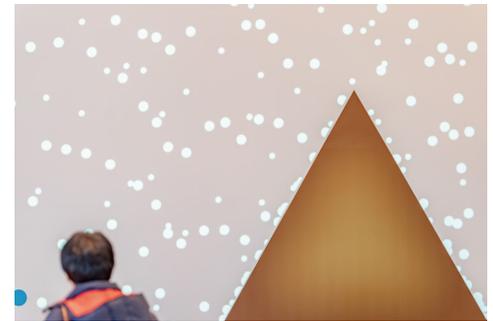
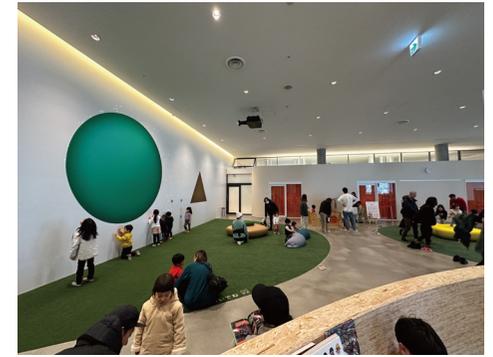


TALKING LIGHTS (2016)

山城大督ウェブサイト

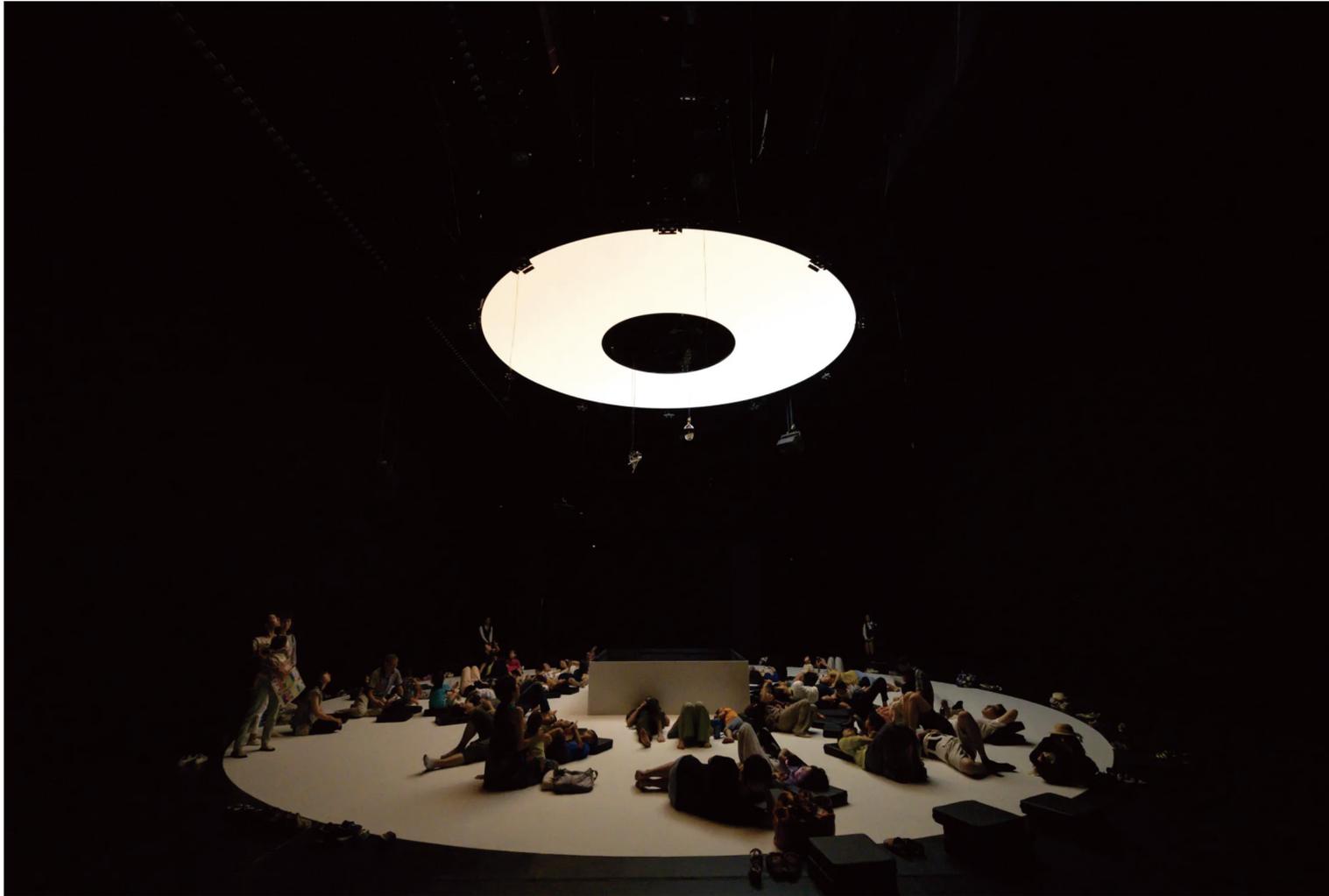


## WONDER WALL (2023)



子どもから大人まで、誰もがわくわくする触れる映像作品《WONDER WALL》。2023年に大阪府茨木市にオープンした茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」にて発表した恒久設置作品。ビジュアル・プログラミングを2023年度のP-Lab、プロジェクトメンバーの玉置賢太郎が担当。

## 風をたべる、光をのむ(2019)



天井に設置された円形スクリーンを観客は寝転びながら鑑賞する、映像、ムービングライト、音響、楽器、複数のオブジェクトによって構成された上演型インスタレーション。上演時間12分30秒。音楽家の角銅真実が制作した音に合わせて作者が舞台上のオブジェクトに動きや光を加えた。外部からの刺激を通常とは異なる感覚によって知覚するシナスタシア、すなわち共感覚をテーマとした。インスタレーション版として《Synesthesia Garden》を同年に高鍋町美術館にて発表。第23回文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品選出。